

# Re;エコ UC#ST500

～ 変性エポキシ樹脂系下塗り塗料 / 1液タイプ ～

- 有機溶剤中毒予防規則非該当
- 鉛・クロムフリー塗料

- 特定化学物質障害予防規則非該当

- PRTR法非該当

## ■特徴

### 1)【環境対応塗料】

従来の溶剤系塗料には無い有機則、特化則、PRTRに該当しない環境対応型塗料です。

### 2)【超高防錆】

2液形変性エポキシ塗料と同等の高い防錆性を有します。

### 3)【優れたサビ面適性】

特殊セラミックを含有し、塗膜下のサビの進行を抑制します。

\*塗装面の浮きサビは、電動工具や手工具で3種ケン以上上の実施をご推奨します。  
残存サビ上に塗装した場合、早期にサビ渾み等が発生する場合があります。

### 4)【超速乾性】

速乾性で塗装後の作業性が優れています。

### 5)【幅広い上塗り適性】

アル酸系～2液形ウレタン系まで幅広い上塗りに適用します。

## ■使用方法

塗装方法	ハケ・ローラー	エアスプレー	エアレススプレー
気象	温度5°C以上	湿度80%以下	
素地調整	ディスクサンダー、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどでサビや黒皮を除去する。油脂分やグリース、ほこり等の付着物や水分は完全に除去し、塗装面を清浄にする		
希釈シナー	速乾：カナエTXFシナー F 標準：カナエTXFシナー N		
希釈率	0～5 %	5～10 %	0～10 %
理論塗布量	120～180 g/m <sup>2</sup>		
標準膜厚	一般面：(Dry) 40～60 μm サビ面(3種ケン以上)：(Dry) 80 μm以上		

\*1 カナエTXFシナーは有機則、PRTR非該当です。

\*2 サビ面への塗装の際は、一度に膜厚を付与するのではなく、2回に分けて塗装(1回目:ミストコート、2回目:本塗装など)する事でサビ面上での防錆効果が高まります。

## ■用途

建築機械、工作機械、農業機械、産業機械など  
一般鋼材の下塗り用、車両下回りの塩害対策用

## ■適用上塗り

Re;エコ TC#ホープフル

ネオカナエマリンFE、ネオカナエスーパークリック  
リルカ#54、ウレテックス#800など

\*ビニル系塗料は避けて下さい。

## ■塗料性状

色	ブラック・ライトグレー
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.32
引火点 (°C)	25
有機溶剤中毒予防規則	非該当
消防法区分	第2石油類
荷姿	4kg、16kg

\* 上記の塗料性状の数値は標準を示すものであり、色やロット等により変動があります。

## ■乾燥時間

温度	5°C	20°C	30°C
指触乾燥	30分	15分	10分
半硬化乾燥	2時間	1時間	1時間以内
重ね塗り	最短	4時間	2時間
乾燥時間	最長		1.5時間

\*1 乾燥時間は目安であり、性能を保証するものではありません。  
膜厚、湿度などの塗装・乾燥条件によって変動があります。

\*2 重ね塗り前の塗装面に層間付着性阻害物の付着やヨーキングが確認される場合は、それらの除去だけでなく充分な目荒らしを行ってください。

\*3 重ね塗り乾燥時間の最長を超える場合は、層間付着性を確保する観点から、必ずサントバーバーなどで目荒らしを行ってください。

## ■使用上の注意

- 1) 本来の用途以外には使用しないでください。
- 2) 塗料を使用する前には十分に攪拌し、均一にしてからご使用ください。
- 3) 塗料を取り扱う際には、必ず保護具を着用し皮膚や目に接触しない様にしてください。
- 4) 塗装は換気の良い場所で行ってください。
- 5) 塗装する際には、火気や静電気の発生源となるものを避けてください。
- 6) 熱/火花/炎/高温のものの様な着火源から遠ざけてください。
- 7) 保管する場合は、空気に接触しないように容器を密封してください。
- 8) 塗装中、乾燥中とも換気を良くし、蒸気を吸い込まない様にしてください。
- 9) 飲み込んだ場合、口を多量の水ですすいだ後、医師に連絡してください。
- 10) 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹼で洗ってください。
- 11) 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けてください。
- 12) 眼に入った場合、多量の水で充分に洗い流した後、直ぐに医師の診断を受けてください。
- 13) 塗装前に塗装対象の材質に合わせた下地処理を行ってください。
- 14) 塗料を塗る際には、薄く均等に塗布しムラの無いようにしてください。
- 15) 塗料の乾燥時間や硬化時間を守ってください。
- 16) 降雨、降雪のおそれがある場合、強風時は塗装を避けてください。
- 17) 自然発火や引火の危険性があるので、塗料が付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで必ず水に浸けておいてください。
- 18) 使用期限の切れた塗料は使用しないでください。
- 19) 容器に記載の注意事項を守ってください。
- 20) 詳細な安全情報についてはSDSをご参照ください。
- 21) 製品の改良により内容を変更する場合があります。